

日本 NPO 学会

2023 年度定時総会議事録

I. 開催日時： 2023 年 6 月 8 日（木） 19:00~21:00

II. 開催場所：

WEB 会議ツール「Zoom」 (<https://zoom.us/>)を利用したオンライン開催

下記 Zoom URL にて；

<https://us02web.zoom.us/j/86179725031?pwd=MytxemtycnJwUWpjM04xQWtVN2YyUT09>

III. 総会成立、進行、議事録署名人の確認

- 総会の成立の確認

会則第 12 条の定めにより、総会が成立していることが確認された。

- 議長の確認

会則第 13 条の定めにより、石田会長(第 12 期理事会・会長)が議長を務めることが確認された。

- 議事録署名人の選出

会則第 15 条に基づき、議事録署名人として、菅野会員、関口会員が選出された。

IV. 議題

議題、議案については別添の理事会案内、配布資料を参照のこと

<審議事項>

第 1 号議案 2022 年度事業報告案について

石田会長より資料に沿って説明があった（当日差し替え資料）。

質疑応答なし。

第 1 号議案は、全員一致で承認された。

第 2 号議案 2022 年度決算報告案について

石田会長より資料に沿って説明があった（当日差し替え資料）。

監査報告書についても石田会長より報告があった。

質疑応答なし。

第 2 号議案について、全員一致で承認された。

第 3 号議案 監事の選任について

石田会長より資料に沿って説明があった。

第 3 号議案について全員一致で承認された。

<報告事項>

1. 2023 年度事業計画について

石田会長より資料に沿って説明があった。

2. 2023 年度予算について

石田会長より資料に沿って説明があった。

3. 学会事務局体制の変更について

石田会長より資料に沿って説明があった。

4. 特別会計の廃止について

石田会長より資料に沿って説明があった。

・会計上の廃止であり、学会賞の授与はこれまで通り継続予定。

5. 日本 NPO 学会謝金規程について

坂本組織運営委員長より資料に沿って説明があった。

あくまで標準額として柔軟な対応をするために内規として定めた。

6. ハラスメント対策の実施について

坂本組織運営委員長より資料に沿って説明があった。

7. 学術研究委員会主催ウェビナーについて

岡田学術研究委員長より資料に沿って説明があった。

・6/18に学術研究委員会主催セミナー「人々はなぜ社会運動に参加しないのか？」

を開催予定。100名以上の申し込みあり。

8. 若手研究者への国際学会参加支援助成金について

岡田学術研究委員長より資料に沿って説明があった。

・助成金受賞者には、学会のニュースサイトにコラムを寄稿してもらっている

9. 第26回研究大会について

松本大会運営委員長より資料に沿って説明があった。

・来年度開催校高崎経済大学の八木橋会員より一言：大学では、学生主体のNPOが運営しているコミュニティカフェがあり、NPO学会の開催にふさわしいのでは。ぜひご参加いただきたい。

10. ノンプロフィット・レビュー発行及び投稿規程について

菅野編集委員長より資料に沿って説明があった。

- ・NPR がスムーズに出すことができず申し訳ない。事務局委託との兼ね合いで、職人芸的な部分は委員の変更があっても継続的に運営できるようにしていきたい。
- ・投稿規程の改定については、実務者も投稿しやすくなるよう改訂を行った。

11. 第 21 回日本 NPO 学会賞受賞作品について

李学会賞選考委員より資料に沿って説明があった。

- ・多くの応募があった。感謝する。表彰式は、研究大会期間中の 6/10（土）18:30 より行われる。
- ・林賞については、十分に検討を行ったが該当者はなしとなった。

12. その他

- ・6/10-11 開催の第 25 回研究大会・鈴木大会実行委員長よりご挨拶。
- ・同じく第 25 回研究大会・内田企画委員長よりご挨拶。公開シンポジウムは岸本杉並区長が登壇予定。
- ・同じく第 25 回研究大会・松本大会運営委員長よりご挨拶。無事に開催できること楽しみにしている。大会では、会員交流を目的として、理事やニューカマーの名札

に目印をつけ交流しやすくなる企画も実施予定。

以上

議 長 石 田 祐 印

議事録署名人 菅 野 拓 印

議事録署名人 関 口 宏 聡 印